

「ともしび」は、育友会人権教育専門部の機関紙です。
1996年に第1号が発行され、毎年3～4号が発行され、今号で第80号となりました。
「ともしび」という名前に込めた思いを感じてください。

ゴーゴート、全てを焼き尽くすような激しい炎ではなく、
ろうそくのように、トロトロ、ジワ～と人の心の中に沁みこむような暖かな灯。
これからも絶やすことなく、ともし続けていきたいです。



☆差別の解消と自己解放に向ける灯

☆他の人と、自分自身を大切に！と願う灯

☆力強く生きる力の灯

☆仲間作りの輪の中でともった灯

ご挨拶

校長 横山 尚登

「恕」という言葉があります。

孔子の弟子が師である孔子に対して「人生で一番大事なことはなんですか？」と尋ねたところ「それは恕であろうか」と答えたというものです。恕というのは、人に対する思いやりのことです。

日本人は古来この恕という考え方を大事にしてきました。つまり、相手の立場に立って考えるということです。自分がされたくないことは人にしてはならない。他を受け入れ、認め、許し、その気持ちを思いやる。自分のことと同じように人のことを考える。皆が恕の心を持って人と交流してほしいと思います。

恕の心を持つためには、自分を認めること、つまり自己肯定感を持つことが必要だと言われます。誠実で明るい人生観を持ち、自他共に受け入れ、認め合うことのできる人生は幸せですね。

ともしび発行に寄せて

今、伝えたいこと

育友会人権教育専門部長

3年保護者

牧田 かおり

新学期が始まり3ヶ月が過ぎました。北高では、一大イベント行事の北高祭も無事終わり、学生の皆さんも北高チームのメンバーとして参加し、いろいろな人との交流を通して何か思い考えることもあったと思います。私も皆さんに、負けじとお話したいと思います。

私は、平井大の曲が好きです。どの曲もいい曲なのだけれど、'Slow&Easy'がいいです。

先日、年齢も住んでいる環境も違う5人のメンバーでささやかな誕生日会をひらいた時、その中の1人が、ウクレレ演奏付きの曲を披露してくれました。

偶然にも平井大の'Slow&Easy'を含む数曲を歌ってくれました。ウクレレの音色と彼の優しさがあふれだし、とてもいい時間をみなと共有することができました。盛大な会ではなかったけれど皆が共に祝い、幸せな気持ちになれました。

歌詞の中にある'幸せは「作るもの」じゃなくて「気づくこと」なんだってきっと'ということを実感した瞬間でした。キザなことを言うつもりはないけれど、偶然か必然か、このメンバーに出会えたことに感謝し、これからもこの出会いを大切にしていきたいと思います。



今、伝えたいこと 3, 1年保護者 育友会長 山田 珠央

最近日常で感じることがあります。それは、愛するということ・愛されるということ。皆それぞれ、愛するチカラ・魅力を持っていると思うのですが、それを難しく考えすぎたり、気付かなかったりする子ども、大人が多い気がします。

自分の努力と周りの人たちのおかげで成長していくもの、私はそんな気がしています。愛だけではなく、全てのことに言えることなのですが、されることだけ望んでも何も残らないし、何も生まれません。『与えられる人になりたい』私はそう思っています。

私はまだまだ、子どもたちによって成長させてもらっている人間です。たぶん、死ぬまで続く終わりのない、人生の勉強のような気がします。

子供どもたちにも親御さんたちにも、今一度考えてほしいと思います。心に、すべての人が、特別でかけがえのない存在であるということを…。



私が今、思うこと 1・3年保護者 村本 美保

「^{うんがいそうてん}雲外蒼天」という言葉があります。

この言葉は、我が子が中学校3年生の時の生徒会が決めた校内目標でした。毎年、この目標は変わるのですが、私は、子どもたちが常に目標持って取り組む姿勢が、とても素晴らしいと感じていました。

この言葉の意味は、もともとは「雲外に蒼天あり」といって、暗雲の外に出れば、蒼空（あおぞら）は広く、あたたかい。雲は、さまざまな障害や悩みの意。困難を乗り越え、努力して克服すれば快い青空が望めるという言葉。絶望してはいけないという激励の言葉。なのだそうです。

正に、その通りだと思います。子どもたちには、常に目標持って頑張ってもらいたいと思います。

私が今、思うこと 3年保護者 小谷 ジョセフィン

私たちの平等な権利として「幸福になる」という権利があります。人を押しのけたり、人の足を引っ張ったり、人を^{けな}貶したりして自分だけが幸せになろうとしても、決して幸福にはなれません。

これからの人生の中で、様々な人と出会い、たくさんの友人もできると思います。是非、自分の周りの人も幸福にできる人に成長してください。心の美人になれば、必ず幸福が訪れます。



人権についての学習を重ねる 3年保護者 加藤 満夕



「自分を大切に出来なければ、他人も大切に出来ないということ。」

「自分を大切にするためには、まず自分を知ること。」好きな物、嫌いな物、得意なこと、苦手なこと、感情や行動のパターン等、自分について知り、理解できれば、他人のこともイメージ出来るようになります。

そうすれば付き合う中で意見や思いがくい違っても、うまく「折り合い」をつけられるようになると思います。難しく考えなくても、それぞれの個性をそれぞれの

色だと考えれば、少し楽になります。

異なる色を無理矢理混ぜるのではなく、1人ひとりが「差し色」となれば素敵だと思います。そして日々変化していくであろう自分の色を探しながら、これからも学んでいきたいと思っています。

高校生に伝えたいこと 2年保護者 竹歳 眞澄



「撒いた種^まの通り花が咲く」

今、あなたの周りで起きている良いことも、悪いことも、過去にあなたが撒いた種です。そうです、自分が撒いた通りの人生になることを知って下さい。自分の人生！自分の責任！過去に自分が撒いた種は、見守るしかありません。でも、今日撒く種は選ぶことが出来ます！行動すれば、思い通りの花が咲くことでしょう。

たくさんの経験が肥沃^{ひよく}な土となり、あなたの心の花壇で時間を掛け、毎日の水やりも忘れず大切に育てて下さいね。きっと素敵な大輪の花が咲くことでしょう。

高校生に伝えたいこと 2年保護者 安堵 美智子

「やり抜く力」 あの時、やっていたら……。あの時、行動していれば……。

学校生活や社会生活、時には面倒なことも、やる意味が分からない時もあると思います。

でも、面倒なことや、意味の分からないことのほとんどは、自分を成長させます。夢に近づいていきます。無関心ほどもったいないことはないのです。

現状や環境、人それぞれ違い、迷ったり悩んだりすると思いますが、色々なことに興味を持ち、今ある選択肢の中で、自分なりに頑張ったなと思えるように、やり抜いてみようとしてみて下さい。小さなことでもいいのです。やり抜くことで、自分の中にある軸・やりたいこと等、自分の中の何かが見えてくるのではないのでしょうか。

そして、頑張った時は自分を褒めてあげて下さい「よく頑張った」と。

一生に一度しかない時間ですから、後悔しないように学校生活を送り、楽しんでください。



高校生に伝えたいこと 1年保護者 荊尾 ふみ

私は現在、介護支援専門員をしています。母子家庭になってからの資格取得で、当初は資格も就職もままならず、子どもたちにも苦しい思いをさせてしまったと思います。私の失敗を反面教師として考え、できれば高校生の時に将来のことを考え、就職してほしいです。私のように勉強・スポーツが苦手でも、絶対に良い道が誰にでも用意されています。良い道に出会うためには、自分に合った道を探し当てることです。自分に合った道を間違えることもあると思いますが、迷っても間違っても、合った道に出会うまで、あきらめないで進んでほしいと思います。高校の次の道は、現実と結びついています。反対されようと、金銭的に難しかろうと、決して諦めないで、後悔しない人生を歩んでいただけることを願っています。



『SMILE』 人権教育部長 門原 広憲

6月11日、本校体育館で鳥取県あいサポート大使で美容家の山野愛子ジェーンさんをお招きして「美道とスマイル」というテーマで人権教育全校講演会が行われました。

美道五原則「髪・顔・装い・精神美・健康美」のうち、精神美と健康美が特に生きていくうえで必要だと話されました。精神美は、自分自身を信頼し、自信を持って行動するということです。想いは叶う、思えば叶う。自分が出来ないと思ってしまうと叶えることはできない。目の前のことに怖がらないで、何度も何度も挑戦をし続けてつかみ取って欲しいです。



S・・・Smile&SmartDecisions スマイルと決断

M・・・Manners マナー

I・・・Impressions&Ichiryu 印象と一流

L・・・love 愛情

E・・・Excited&Enjoy 一生懸命・楽しんで

健康美で話された、体調管理の徹底、挨拶、服装の着こなし、遅刻をしない、人の話を聴く、これらのことが将来においてとても大切な意味を持ちます。これからの生活に繋げてほしいと思います。

みなさんは、『寝た子を起こすな』ということわざの意味をご存知でしょうか。「寝ている子どもは静かだが、わざわざ起こして泣かせることはない」という意味から転じて、せっかく収まった物事に対して、余計な言動をして、再び問題を起こすことはない。潜^{ひそ}んでいる欲望をあおって刺激を与えることはないという例えです。部落問題については、「何も知らない人に、わざわざ問題の詳細を知らせる必要はなく、放置しておけば自然に解決する」とするという考え方です。では、学習せずに放置しておけばいいのでしょうか？



「私は差別をしない」と思っている人は、たくさんいると思います。その根拠は何でしょうか？差別をしない気持ちが大事でも、何が差別になるのかを知らなければ、差別者になってしまうと思います。寝た子を起こすなと言っても、寝た子は必ず起きます。子どもが泣いていれば、お腹が空いたか、おしっこをして、おむつを交換してほしいのか、考えて対処すると思います。部落問題についても、何が差別になり、何が人を傷つけるのかを知らなければ、あなた自身が加害者となり、被害者を生む可能性を秘めています。だからこそ、1人ひとりが知らないことに知ろうとする取り組みをしていってほしいと思います。

育友会人権教育専門部年間事業計画



7月	第80号 ともしび発行
10月	人権教育研修会（保護者等対象：専門部主催）
11月	人権教育LHR（ロングホームルーム）公開授業・懇談会
12月	第81号 ともしび発行（研修報告号）
2月	第82号 ともしび発行（卒業記念号）

人権教育関係行事・研修会のご案内

※詳細は別途ご連絡します。

- 第42回 人権尊重社会を実現させる鳥取県研究集会
8月8日（水） とりぎん文化会館 梨花ホール ほか
- 部落解放研究 第46回 倉吉市集会 8月19日（日） 倉吉未来中心ほか
- 子供の人権
「倉吉市の子どもたちが幸せな子ども時代を過ごすために、いま私たちができること」
8月25日（土） 倉吉交流プラザ 視聴覚ホール
- 女性の人権『『よりよい関係づくり』～あらゆるハラスメント・DV防止について～』
9月8日（土） 倉吉交流プラザ 視聴覚ホール
- 第70回 全国人権・同和教育研究大会滋賀大会 11月17日（土）・18日（日）
メイン会場：ウカルちゃんアリーナ（滋賀県立体育館）
地元テーマ：淡海（おうみ）から つながる ひろげる ヒューマンネット

人権教育専門部は、多くの人の思い・思いやりを大切にしながら、
たくさんの人に「小さな気づき」や、「小さな発見」に結びつく
きっかけ作りとなるお手伝いができたらと思っています。
それが、「大きな成長（収穫）」や、「大きな成果」につながれば…と。

